

## V 健全な行財政基盤づくりの推進

### 地域にぎわい創り推進員を市民局に複数配置

■地域にぎわい創り推進員の増員配置  
【総務費】(拡充) 2,434万円  
(市民部 市民協働課)

地域の特性や特徴を活かしつつ、市民と行政との協働による地域自治活動等の活性化を推進し、良好な地域社会の形成及び振興をより一層推進するため、各市民局に配置している「地域にぎわい創り推進員」を今年6月から2人体制に拡充します。



地域で活躍する地域にぎわい創り推進員  
(平成25年6月 丹後町立岩周辺での海岸清掃開始式)

#### 地域にぎわい創り推進員の業務

- ・地域まちづくり計画の策定
- ・自主防災組織の設置促進
- ・区長連絡協議会の庶務
- ・域学連携事業の支援
- ・コミュニティビジネスの応援
- ・地域の特性または特徴を活かした地域活性化の推進
- ・その他、市長が特に必要と認めた活動

### 京丹後市の魅力を市内外に発信

■京丹後市市勢要覧作成業務  
【総務費】(新規) 1,059万円  
(秘書広報課)

市制10周年を機に、改めて本市の魅力や施策を広く市内外に発信するため、市勢要覧を発行します。

3部(本編、資料編、10年のあゆみ)構成で作成し、10月には全戸配付の予定としています。



平成17年度に作成した市勢要覧

■「行政対応策専門員」の設置  
【総務費】(新規) 250万円  
(企画総務部 総務課)

市行政に対する不当な要求や言動等に対応するため、外部からノウハウを有する方を専門員として採用します。

専門員は、非常勤職員として委嘱し、職員からの相談、指導及び対策にあたるとともに必要に応じて各庁舎へも出向、対応します。



### 「わかりやすい市役所」づくりを進めます

■庁舎再配置事業  
【総務費】(新規) 1,453万円  
(企画総務部 企画政策課)

更なる行財政の効率化と「わかりやすい市役所」づくりを目指し、本庁機能の集約を含め今後の庁舎の在り方を具体的に検討するとともに、地域の活性化を目的とした跡地利用について調査、研究を行います。



京丹後市役所 峰山庁舎

### 市民総幸福のまちづくりを目指して

■幸福度指標等の研究  
【総務費】(新規) 141万円  
(企画総務部 企画政策課)

「市民総幸福の最大化を目指したまちづくり」に向け、経済的な豊かさだけでなく、健康や環境、人との関係をはじめ多様な価値観、幸福感など市民の幸福とまちづくりに関する事項(条例化の検討を含む)の調査、研究を実施します。



住民の幸福実感向上を目指す  
基礎自治体連合「幸せリーグ」設立総会

幸せリーグ▶住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合のことで、真に住民本位の自治体運営を実現し、誰もが幸福を実感できるあたたかい地域社会を築いていくために、全国55の市区町村で組織しています。

■第2次京丹後市総合計画の策定  
【総務費】 535万円  
(企画総務部 企画政策課)

総合計画は、京丹後市の10年後の将来像と、その将来像に向けた各種施策を表す、まちづくりの基礎を担う大切な計画です。

平成17年に策定した第1次京丹後市総合計画は、平成26年度末をもって終了します。市民が幸福で将来に明るい展望の持てるまちづくりを進めるため、新たなまちづくりのビジョンとして第2次京丹後市総合計画を策定します。



第1次京丹後市総合計画冊子

### 業務改善や職員能力を向上します

■公務品質向上推進専門委員の設置  
【総務費】 143万円  
(企画総務部 人事課)

市職員の能力向上及び時間外勤務削減などを民間の視点により業務改善を行うため、公務品質向上推進専門委員を設置します。



公務品質向上推進専門委員会の様子

### 親しまれる市役所を目指して

■「総合窓口案内係員」の設置  
【総務費】 112万円  
(企画総務部 人事課)

親しまれる市役所づくりを目指すため、峰山庁舎玄関ホールに「総合窓口案内係員」を試行的に配置し、来庁される方へ初期相談に応じるなど声掛けや市役所案内を行います。



総合窓口案内係

■まちづくり青年塾の開催  
【総務費】 8万円  
(企画総務部 企画政策課)

今後のまちづくりの中核を担う若い世代の問題意識、発想力などにより、本市の将来ビジョンや施策などを互いに語り合い、育むことで、可能性あふれる京丹後の未来を切り拓くことを目的とした「まちづくり青年塾」を開催します。



まちづくり青年塾の様子

### 「オリジナルナンバープレート」(ご当地ナンバープレート)を導入します

■オリジナルナンバープレート作製事業  
【総務費】(新規) 119万円  
(財務部 税務課)

市制10周年記念事業の一環として、市民の一体感と地域への愛着心や納税意識の高揚を図るとともに、観光PRの一助とするため、軽自動車税の対象となる原動機付自転車(原付バイク)のオリジナルナンバー(ご当地ナンバー)プレートを作製します。形状やデザインは、公募により決定し、平成27年1月からの交付開始を目指します。

従来型プレートとの選択制とし、新規登録のほか既に登録済みの原動機付自転車についても、希望により交換する予定としています。



写真は宮津市と亀岡市の50cc以下のオリジナルプレート



オリジナルナンバープレートの交付対象は、50cc以下、90cc以下、125cc以下の3種類です。また、形状やデザインの公募、交付開始の時期等については、市ホームページや広報紙などを通じてお知らせする予定としています。